

Indonesia Weekly

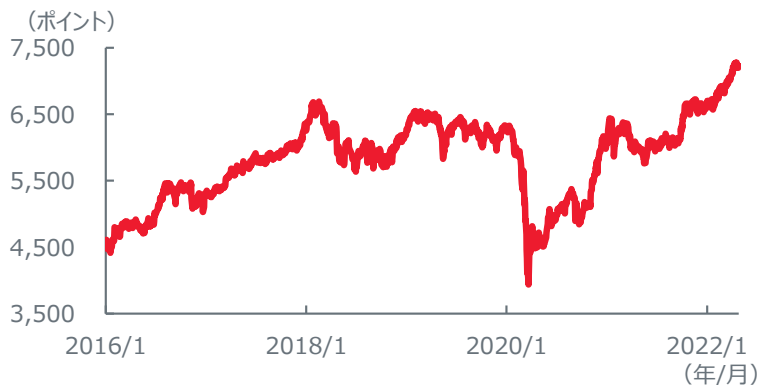
2022年5月9日



A Prudential plc (UK) company

(対象期間：2022/4/25～2022/5/6)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2022年4月28日)



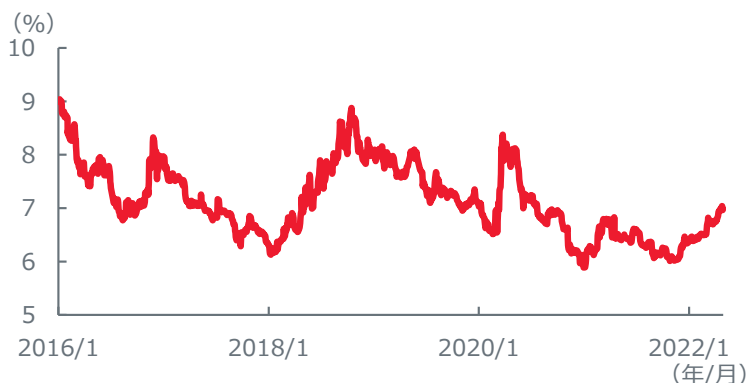
【株式市場】

4月25日のインドネシア株式市場は中国株式市場の下落を受けてセンチメントが悪化する中、パーム油輸出禁止の政府の発表を受けてパーム油関連株が下落したほか、4月上旬に上場した大手インターネットサービス会社が大幅下落し軟調となりました。その後は一時買い戻しの動きがみられましたが、消費関連株に利益確定売りが見られ下落しました。28日は市場予想を上回る好決算となった大手銀行株や自動車関連株が大幅上昇となったほか、コモディティ関連株も続伸し上昇しました。4月28日の株式市場は前週末の4月22日に対して上昇しました。

2022/4/22	2022/4/28	変化率
7,225.61	7,228.91	+0.05%

※4月29日から5月6まで祝日のため休場

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2022年4月28日)



【債券市場】

4月25日のインドネシア債券市場は中国の景気後退懸念が意識され、リスク回避姿勢が強まり利回りは上昇（価格は下落）しました。27日、大手格付け会社のS&P社はインドネシアの順調な景気回復と政府の財政赤字縮小への取り組みを評価し、インドネシアのソブリン格付けの見通しを「BBB、安定的」に引き上げました。また、インドネシアは財政再建に前進しており、今後2～3年で財政赤字幅は更に縮小が見込まれるとコメントしました。週末にかけては通貨ルピアが弱気みとなり、利回りは上昇しました。4月28日の10年国債利回りは前週末の4月22日に対して小幅に下落しました。

2022/4/22	2022/4/28	変化幅
6.994	6.986	-0.008

※4月29日から5月6まで祝日のため休場

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2022年5月6日)



【為替市場】

週初のルピアは中国の景気後退懸念が意識され、リスク回避姿勢が強まり下落しました。その後も、28日からの政府のパーム油輸出禁止発表による影響への懸念から下落しました。更に5月3日～4日に開催される米連邦公開市場委員会（FOMC）を前にして、米国金利が一段と上昇したことを受けてルピアは下落しました。FOMC後、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の発言をきっかけに米ドル安となり、ルピアは買い戻し傾向となりました。5月6日のルピアは前々週末の4月22日に対して対米ドルでは下落、対円では上昇となりました。

2022/4/22	2022/5/6	変化率
0.8945	0.8996	+0.57%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。